

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ユースチン-100
製品コード	USR100F
会社名	科研製薬株式会社
住所	東京都文京区本駒込2丁目28番8号
電話番号	03-5977-5037
FAX番号	03-5977-5136
メールアドレス	ag_rd@kaken.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	飼料添加物（抗生物質）

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【健康に対する有害性】

急性毒性（経口）	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
特定標的臓器毒性・全身毒性（反復暴露）	区分2

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】

警告

【危険有害性情報】

- ・ 飲み込むと有害
- ・ 皮膚刺激
- ・ 強い目刺激
- ・ 長期にわたる、または反復暴露による骨格筋、心筋の障害のおそれ

【注意書き】

【安全対策】

- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ 取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・ 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 口をすすぐこと。
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡する事。
- ・ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

[廃棄]

- ・内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託することに。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

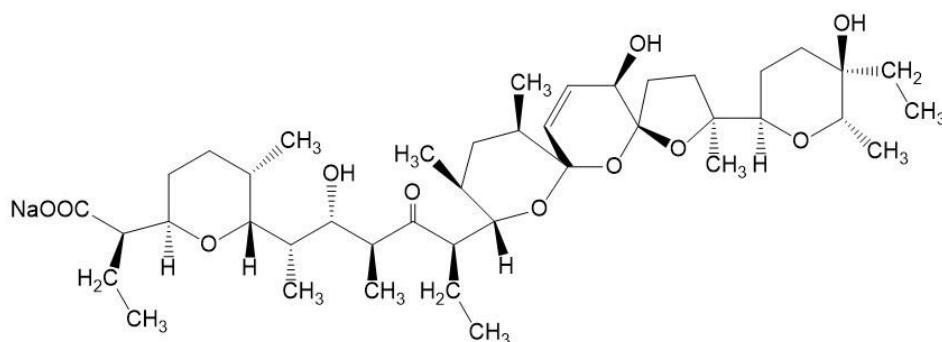
化学名又は一般名 サリノマイシンナトリウム

ナトリウム(α R,2R,5S,6R)- α -エチル-6- [(1S,2S,3S,5R)-5-[(2S,5S,7R,9S,10S,12R,15R)-2-(2R,5R,6S)-5-エチルテトラヒドロ-5-ヒドロキシ-6-メチル-2H-ピラン-2-イル-15-ヒドロキシ-2,10,12-トリメチル-1,6,8-トリオキサシスビロ [4,1,5,3] ペンタデク-13-エン-9-イル]-2-ヒドロキシ-1,3-ジメチル-4-オキソヘプチル]-テトラヒドロ-5-メチル-2H-ピラン-2-アセテート

	含有量 %	化学式	官報公示整理番号 化審法 安衛法	毒劇法	CAS 番号
サリノマイシンナトリウム	10.0	C ₄₂ H ₆₉ O ₁₁ Na		30-5	55721-31-8
流動パラフィン	1.5	C _x H _y (x:15~20 以下)	(9)-1692,(2)-10		8012-95-1
その他賦形剤等	88.5				

分子式(分子量) C₄₂H₆₉O₁₁Na(772.993)

化学特性(示性式又構造式)



4. 応急措置

吸入した場合 : 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。

: 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。

: 直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂類。

使ってはならない

消化器 : 棒状放水

特有の有害性 : 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

: 摩擦、熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

: 激しく加熱すると燃焼する。

特有の消化方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

: 消化後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

: 作業者は適切な保護具(『8.暴露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、

眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
：漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
：密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。
回収・中和：漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法・機材二次災害の防止策

：水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
：全ての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
：プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気：『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
：飲み込まないこと。
：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
：取扱い後はよく手を洗うこと。
：皮膚との接触を避けること。
：粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。

保管

技術的対策：特別に技術的対策は必要としない。
保管条件：容器を密閉して保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：未設定
設備対策：この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
：作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
許容濃度：日本産業衛生学会及びACGIH（2007年版）のいずれも設定されていない。
(暴露限界値、
生物学的暴露指標)
保護具
呼吸用保護具：適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具：適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具：適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体
の保護具：適切な保護衣を着用すること。
衛生対策：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
：取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：淡褐色粉末
臭い：特有な臭いを有する。
粉塵爆発下限濃度：50g/m³以上で粉塵爆発の危険性あり。

10. 安定性及び反応性

安定性：法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

1 1. 有害性情報 (飼料級)

急性毒性 (飼料級)	:	投与経路	性別	ラット
		経口	雄	LD ₅₀ 249mg/kg
			雌	LD ₅₀ 310 mg/kg
		経皮	雄	LD ₅₀ >5,000 mg/kg
			雌	LD ₅₀ >5,000 mg/kg

皮膚刺激性 (飼料級) : 中程度の刺激性

眼刺激性 (飼料級) : 中程度の刺激性

特定標的臓器・全身毒性 (反復曝露) (精製級)

: 豚、牛、馬等に無食欲、呼吸困難、疝痛、後肢の麻痺、横臥の姿勢をとるなどの症状が見られ、病理学検査の結果、心筋、骨格筋に影響が見られるとの記述がある(具体的摂取量不明)(HSDB(2002))ことから、区分 2(心筋、骨格筋)とした。

1 2. 環境影響情報

魚毒性 : データなし

分解性 : データなし。

その他 : サリノマイシンナトリウムを投与した鶏糞の作物に対する薬害は見られなかった。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。

汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報 : 該当しない

航空規制情報 : 該当しない

国内規制 陸上規制情報 : 毒劇法の規制に従う。

海上規制情報 : 該当しない

航空規制情報 : 該当しない

特別安全対策 : 移送時にイエローカードの保持が必要。

: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

: 重量物を上積みしない。

1 5. 適用法令

毒物劇物取締法 : 劇物 (指定令第 2 条) (政令番号 : 30-5)

飼料安全法 : 飼料添加物の成分規格等収載書

1 6. その他の情報

版番号 : 第 7 版

参考文献 :

- 1) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2019) 日本規格協会 (令和元年5月25日改正)
- 2) GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z 7252:2019) 日本規格協会 (令和元年5月25日改正)
- 3) 毒劇物基準関係通達集 薬務広報社(1991)
- 4) 飼料添加物の成分規格等収載書 日本科学飼料協会 (第 9 版)

本製品安全データシート (MSDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS 中の注意事項は通常の手扱いを対象にしたもので

す。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は、MSDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

緊急連絡先：03-5977-5033

財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒 110 番 一般市民専用電話（大 阪）072-727-2499（情報料無料）

365 日 24 時間対応

（つくば）029-852-9999（情報料無料）

365 日 9～21 時対応

医療機関専用有料電話（大 阪）072-726-9923（1 件 2000 円）

365 日 24 時間対応

（つくば）029-851-9999（1 件 2000 円）

365 日 9～21 時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。